



一般社団法人

学びのイノベーション・プラットフォーム  
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

PRESS RELEASE

4-6-1 Komaba, Meguro-ku, Tokyo 153-8505, JAPAN  
TEL : 03-5452-6621 E-mail : info@plij.or.jp

## 第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」受賞者を決定

2026年1月13日

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)は、内閣府、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、朝日新聞社の後援の下、第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の選定を行つておりましたが、このたび受賞者を決定し、表彰式を2026年1月26日(月)に開催いたします。

### 1. 受賞者

第2回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の選定にあたり、昨7月1日～10月10日の募集において、各地、各方面から多数の応募がありました。学校のSTEAM教育や探究型の新たな学びを産官学で支える取組み、企業・大学などが中心になって行う学びなど「社会全体で新たな学びを支える」という表彰の趣旨に沿う取組みが寄せられました。有識者の選考委員(委員長:遠藤信博 NEC特別顧問)による厳正な選考の結果、11件のグランプリと2件の特別賞が決定いたしました。特別賞は、選考委員会のイニシアティブで、STEAM・探究の学びの推進に格別の貢献があった個人または団体を対象として選定したものです。

グランプリ11件、特別賞2件の一覧は、以下のとおりです。取組みの概要については、別添1をご参照ください。グランプリおよび特別賞の受賞者は、高等学校5、大学4、企業関係2、教育委員会2となっております。また、本年度創設された「朝日新聞社賞」につきまして、グランプリ受賞者の中から1件が選出されました。

### ■ グランプリ

- 秋田県立新屋高等学校および協力機関  
「新屋高校SSC(SDGs×STEAM×Career)プロジェクト」
- 愛媛大学「四国型次世代科学技術チャレンジプログラム」実行委員会および協力機関  
「四国型次世代科学技術チャレンジプログラム」
- 大阪大学および協力機関  
「高校生向け STEAM 教育『SEEDS プログラム』」
- 加賀市教育委員会および協力機関  
「加賀小中一貫型 STEAM プログラム」
- 鹿児島県立市来農芸高等学校および協力機関  
「昆虫×STEAM で挑む地域課題解決」
- 千葉大学および協力機関  
「デザイン思考を取り入れた STEAM 教育による次世代人材養成」

- 東京大学大学院情報学環開沼博研究室および協力機関  
「問う力を磨き実践する探究プログラム『福島学力レッジ』」
- 日鉄エンジニアリング株式会社および協力機関  
「エンジニアリング教育プログラム 情熱・先端 Mission-E」
- 広島県立祇園北高等学校および協力機関  
「『好き』から始まり、『好き』を学び、『好き』を究める探究活動」
- 宮城県仙台第三高等学校および協力機関  
「産学官連携により探究の深化を目指す『三高型STEAM教育』」
- 宮崎県立延岡高等学校および協力機関  
「地域協働による延高の未来創造人材の育成」

### ■ 特別賞

- 朝日放送テレビ株式会社  
「『Q-1～U-18 が未来を変える★研究発表 SHOW～』の制作と全国放映」
- 鎌倉市教育委員会および協力機関  
「『鎌倉スクールコラボファンド』の取組」

### ■ 朝日新聞社賞

- 宮城県仙台第三高等学校および協力機関  
「産学官連携により探究の深化を目指す『三高型STEAM教育』」

## 2. 表彰式及び報告会

下記の通り、表彰式および表彰された活動の報告会を開催いたします。

- 表彰式: 2026年1月26日(月)16:00～17:00
- 報告会: 2026年1月26日(月)13:00～15:45 (表彰式に先立って行います)  
※ 会場参加およびオンラインのハイブリッド形式

表彰式及び報告会の場所 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区駒場4-6-1)  
コンベンションホール(An棟 2F)

プログラム概要および会場案内は別添2のフライヤーをご覧ください。

## 3. 報道関係者の取材

この機会にメディアの方々には取材をして頂きたいと存じます。

取材対応について 本件の取材を希望される方は、以下の連絡先にご連絡ください。

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)事務局  
担当:梅森・一瀬  
電話:03-5452-6621(代表) メール:[info@plij.or.jp](mailto:info@plij.or.jp)  
法人ホームページ:<https://plij.or.jp/>

## (別添1)受賞対象活動の概要

### ■ グランプリ

- 秋田県立新屋高等学校および協力機関

#### 「新屋高校SSC(SDGs×STEAM×Career)プロジェクト」

新屋高校 SSC プロジェクトは、SDGs・STEAM・キャリアを組み合わせ、論理的思考力や問題解決力などを育成する探究型教育である。生徒は模擬会社を設立し起業を体験したり、既に法人登録された「合同会社あらこう」での海洋ゴミを活用したアクセサリ開発など地域貢献型ビジネスに携わることが出来る。また、体系的な探究フォーマットや教員育成など学校教育全体に組み込まれ、生徒に「責任ある意思決定」を体験させる本気の探究活動となっている。

- 愛媛大学「四国型次世代科学技術チャレンジプログラム」実行委員会および協力機関

#### 「四国型次世代科学技術チャレンジプログラム」

四国の国立5大学、四県の教育委員会、企業が連携し、高校生に科学技術分野の探究機会を提供するエコシステムである。愛媛大学の理・工・農・社会共創・教・医の教員が中核を担い、基盤学習・展開学習・発展学習/課題研究の三段階で「グローカルフロンティアリーダー」を育成する。科学アントレプレナーシップ、科学的探究力や異文化適応力を体系的に育成し、応募者数の増加や理系学部進学率および女子比率の向上など成果を収めている。

- 大阪大学および協力機関

#### 「高校生向け STEAM 教育『SEEDS プログラム』」

大阪大学は高校生の科学的好奇心を芽吹かせ、大きく育てる「SEEDS プログラム」を2015年度より全学で推進している。大学の最先端のリソースを活用し、文理融合・分野横断型の実験や講義を提供し、定員130名のファーストステップと研究室での個人研究を行う約20名のセカンドステップから成る。受講生は国際会議や科学オリンピックで成果を上げ、満足度も高い。年間100名以上の教員と500名以上の学生・教員が協力し、全学体制で充実した学びを実現している。

- 加賀市教育委員会および協力機関

#### 「加賀小中一貫型 STEAM プログラム」

加賀市教育委員会は2017年に全国に先駆けて小学校からのプログラミング教育を導入し、2024年にその積み重ねを元に市内22校で小1から中3までをつなぐ9年一貫の STEAM プログラムを整備した。Viscuit や Scratch、micro:bit を活用した授業に加え、高学年を中心に独自のテーマでプロジェクト学習を展開し、延べ22,000人が学んできた。さらに「KAGA STEAM FES」を毎年開催し、学校・保護者・地域住民が STEAM の学びを応援する文化を醸成している。

- 鹿児島県立市来農芸高等学校および協力機関

#### 「昆虫×STEAM で挑む地域課題解決」

鹿児島県立市来農芸高校は、地元水産業者からの相談を契機に STEAM の各要素を総動員して地域課題の解決をはかる取組みを行っている。魚粉代替としてコオロギ飼料を研究し、地域資源循

環のモデル構築を進めている。農産副産物の活用や発酵熱による保温、IT 企業との施設設置やアプリ開発、大学との連携などで専門知見を取り入れ、探究活動を深化させている。また、継続体制の構築と共に SNS 発信、受賞実績を通じて、研究の社会的基盤を広げている。

- **千葉大学および協力機関**

- 「デザイン思考を取り入れた STEAM 教育による次世代人材養成」**

千葉大学は国立大学として初めて体系的にデザイン教育を開始し、その100年以上の歴史の基盤のもとに、中高生にデザイン思考を育む STEAM 教育プログラムを開発、「出る杭」研究人材養成に取り組んでいる。2008年の開始以来、毎年100名以上が参加し累計 6,000 人を超える。学内の多様な部門に加え、産業界・海外大学などと連携し、英語による科学実験や「飛び選抜」、海外研究室派遣など特色ある取組を実施しており、受講生は国際学会やコンテストで成果を上げている。

- **東京大学大学院情報学環開沼博研究室および協力機関**

- 「問う力を磨き実践する探究プログラム『福島学力レッジ』」**

東京大学大学院情報学環開沼博研究室が主導する「福島学力レッジ」は、震災・原子力災害を探究の起点に中高生が研究者やアーティストと伴走し、探究・表現を行う合宿型・実践型 STEAM 教育プログラムである。研究コースと表現コースを設け、学会発表や作品展示を通じて成果を社会に発信している。本プログラムは、大学・研究者・アーティストが伴走し、一般的な学習を超えた高度な探究・表現を提供する新しい教育モデルでもあり、全国展開が期待される。

- **日鉄エンジニアリング株式会社および協力機関**

- 「エンジニアリング教育プログラム 情熱・先端 Mission-E」**

日鉄エンジニアリングは中高生対象のエンジニアリング教育を展開している。数学・物理・化学に加え工学・美術・社会・環境を統合し、社会課題に挑む探究型学習である。現役エンジニアが約 8 カ月伴走し、浮体式洋上風力や大空間構造物の設計などをテーマに実機モデルを製作し競う。10 年間で 83 校 586 名が参加し、多くが理工系に進学している。また、社長や役員も参加し、企業の認知度や社員エンゲージメントといった企業側インセンティブを創出し続けている。

- **広島県立祇園北高等学校および協力機関**

- 「『好き』から始まり、『好き』を学び、『好き』を究める探究活動」**

広島県立祇園北高校は創立以来「文武両道」を校是とし、陸上・野球・バレーなど強豪運動部を擁する進学校である。2003年度に文武両道を一步進めて「文武一貫」を掲げ、学習と部活動を結合させる往還システムを構築した。生徒の好きな部活動(武)とデータサイエンスの学び(文)を結合させ、探究の結果を部活に活かしている。個人探究はテーマが多様な分野に及び、教員は生徒と共に学ぶ姿勢を重視している。サンフレッチェ広島等の外部機関との連携の下に探究活動を進めている。

- 宮城県仙台第三高等学校および協力機関(朝日新聞社賞を併せ受賞)  
**「産学官連携により探究の深化を目指す『三高型STEAM教育』」**  
「三高型 STEAM 教育」は、全授業に課題解決型学習を取り入れ、その取組みが探究活動で活かせるように工夫した教育プログラムである。数学と情報の融合、家庭と保健の融合など幅広い視点で物事を捉え、探究と課題解決を中心に据えた学びを展開している。探究を支える地域の「尚志ヶ丘フィールド」を設定し、様々な産学官連携を進め、探究的な学びを深化させている。生徒主体の毎年100以上のテーマ設定と多数の外部発表などの成果をあげているレベルの高い取り組みである。
- 宮崎県立延岡高等学校および協力機関  
**「地域協働による延高の未来創造人材の育成」**  
延岡高校は全校生徒 720 名を対象に体系的探究学習を展開している。1年次の SDGs フィールドワーク、2年次の課題研究、3年間で5回の研究発表と最後の英語ポスター発表までを体系化し、産学官連携で毎年 30 名以上の専門家が参画する。教育開発部を設置し持続的運営を実現し、タイ国立高校との協定・共同研究など国際連携も推進している。さらに「目標を設定し主体的に行動する力=エージェンシー」を育む時間 A-time の導入や英語教育との融合により、地域協働とグローバル視点を統合した独自の STEAM 教育モデルとして発展している。

## ■ 特別賞

- 朝日放送テレビ株式会社  
**「『Q-1～U-18 が未来を変える★研究発表 SHOW～』の制作と全国放映」**  
朝日放送テレビは CSR 活動「アスマライプロジェクト」の一環として、若者たち(U-18)が自らの探究心に基づき、社会課題に挑む探究大会を2022年から制作・放映している。審査基準は「未来を、世界を変える探究であるかどうか」である。応募数は2025年に293へ拡大し、番組はテレビ朝日系24局で全国放送された。若者の探究・STEAM の学びがテレビの特性から茶の間に届き、世代を超えて浸透する「探究の民主化」の活動であり、今後成長しつつ番組の継続発展が期待される。
- 鎌倉市教育委員会および協力機関  
**「『鎌倉スクールコラボファンド』の取組」**  
鎌倉市の「鎌倉スクールコラボファンド」は、学校と地域人材を教育委員会がつなぎ、主体的な学びを支える仕組みである。外部連携に必要な資金不足という大きな課題に対し、ガバメントクラウドファンディングで資金を確保し、大学や NPO との協働による多様な教育を実施している。累計約 4,148万円を集め、さらに基金創設、資金運用、寄附型自販機など金融機関とも連携し、財源確保を工夫している。「学習者中心の学び」を具体化する取組で他自治体も参考となるモデルである。



# 2026 1/26 Mon

13:00~17:00



PLIJでは、STEAM教育や探究型学習の実践に、社会総出で協力をすることが重要と考え、2024年度から優れた活動を表彰する制度を、関係府省及び関係経済団体に後援をいただき創設いたしました。  
第2回目となる2025年度は上記に加えて朝日新聞社にも後援に加わって頂き、表彰式を来たる1月26日に行います。  
受賞者から活動についての報告をいただいた後、表彰式となる二部構成としております。

## 受賞者の報告

(13:00~15:45)

〈第17回STEAM人材育成研究会として行います。〉  
【司会】年吉 洋／東京大学生産技術研究所長

### グランプリ

- ◆秋田県立新屋高等学校
- ◆愛媛大学「四国型次世代科学技術チャレンジプログラム」実行委員会
- ◆大阪大学
- ◆加賀市教育委員会
- ◆鹿児島県立市来農芸高等学校
- ◆千葉大学
- ◆東京大学大学院情報学環開拓研究室
- ◆日鉄エンジニアリング株式会社
- ◆広島県立祇園北高等学校
- ◆宮城県仙台第三高等学校
- ◆宮崎県立延岡高等学校

### 特別賞

- ◆朝日放送テレビ株式会社
- ◆鎌倉市教育委員会

本年度創設された「朝日新聞社賞」は、グランプリ受賞者から宮城県仙台第三高等学校が選出されました。

## 表彰式

(16:00~17:00)

【司会】弭間 花菜／吉本興業株式会社

- ◆主催者挨拶
- ◆選考結果報告
- ◆御祝いの言葉
- ◆記念演奏
- ◆表彰楯授与
- 浦嶋 將年／PLIJ理事長
- 遠藤 信博様／NEC特別顧問（表彰選考委員会委員長）
- 野依 良治様／名古屋大学特別教授
- 東京都立国立高等学校 弦楽合奏部 有志

イベント終了後、会場横のホワイエにて懇親会(17:00~18:00)を開催いたします。ぜひご参加下さい。

※お飲み物をご用意しております。参加費無料です。

主 催

一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム  
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

協 力

東京大学生産技術研究所

表彰後援

内閣府 文部科学省 経済産業省 日本経済団体連合会 経済同友会 日本商工会議所 朝日新聞社

開催会場 東京大学生産技術研究所 An棟2F コンベンションホール

### お申込み方法

QRコード、または、下記URLから登録サイトに入っていただき、現地参加か、ウェビナー視聴かを選択して、お申し込みください。参加費無料です。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_PS03zEIVRzeHrIVTKb9NjQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_PS03zEIVRzeHrIVTKb9NjQ)

定 員：会場260名、オンライン500名

問合せ先：info@plij.or.jp

※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。

ハイブリッド開催



JKA Social Action  
競輪とオートレースの補助事業  
CYCLE

<https://www.jka-cycle.jp/>

KEIRIN.JP  
KEIRIN OFFICIAL Website

<http://keirin.jp/pc/top>

この事業は競輪の補助を受けています

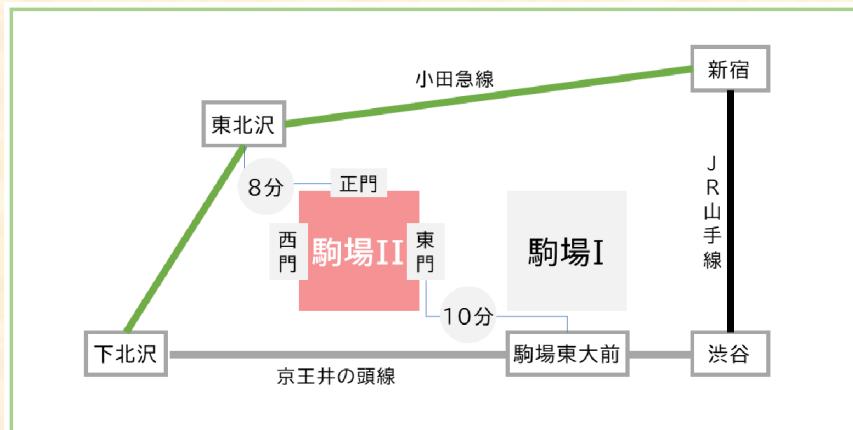
# 会場案内

(東京都目黒区駒場4-6-1 駒場IIリサーチキャンパス内)

【ご注意下さい！】駒場東大前駅に隣接する駒場Iキャンパスではありません。

◆小田急線／東北沢駅より徒歩8分(各駅停車のみ)

◆京王井の頭線／駒場東大前駅(西口)より徒歩10分(各駅停車のみ)



## 駒場IIキャンパス



## (参考)(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム概要

(PLIJ: Platform for Learning Innovation - Japan)

PLIJはSTEAM教育(※)の普及・発展をミッションとして、2021年9月に設立された一般社団法人です。(HP <https://plij.or.jp/>)

STEAM教育を通じた探究力の育成を初等・中等教育段階から浸透させることを目的として、「社会総出」で学びに貢献することを目指しております。PLIJの活動の主要なものは以下の通りです。

- ① 産学官公教の交流を促すイベント開催(PLIJサマーキャンプ、女性活躍応援イベント、STEAM人材育成研究会など)
- ② 学びの現場へ産業人・研究人材など(メンター)を派遣するためのマッチング
- ③ STEAMの学びに資する動画等のコンテンツのプラットフォーム運営  
(現在1,100件超収納、PLIJ STEAM Learning Community <https://community.plij.or.jp/>)
- ④ 表彰制度(PLIJ STEAM・探究グランプリ)等

PLIJは会員によって支えられており、2025年12月1日現在、企業会員(正会員)40、高校、大学、国研、教育委員会など約450の特別会員と連携しつつ、上述のミッションの実現に取り組んでいます。

探究型、教科横断型の教育であるSTEAM教育の実践に向けて、取り組みに活用できる情報や全国各地のグッドプラクティス等を共有し、人的ネットワークを育てる機会を提供します。STEAM人材育成研究会、女性活躍イベント、サマーキャンプに加えて、高校生のための産業探訪セミナーを実施しています。



生徒やこどもたちに現地・現物・人物に接することができる本物体験の機会とSTEAM探究の学びの支援を行うため、メンターの存在が欠かせません。学校からの要望やリソースを保有する社会の側(企業や大学など)からの提案をもとに、マッチングをPLIJが行います。工場/研究室見学、技術者/研究者との対話、出前授業、講演会等について、メンターには多様な形態があります。



2023年4月から運用開始したPLIJ STEAM Learning Communityは、会員様を中心に多様なステークホルダーから提供いただいたSTEAM教育に活用できる動画・画像・ドキュメント等を横断的に検索、閲覧することができます。現在約1,100件を超えるコンテンツが収納されていますが、質と量両面での進化をめざしつつ、学校での使い方のモデルの提示にも取組みます。



2024年度を初年度として表彰制度を設立しました。社会総出と連携をキーワードに顕著な実績を残された組織の活動を見る化し、社会的気運を盛り上げて参ります。2025年3月の表彰では、グランプリ10件、特別賞2件が受賞されました。



※Science, Technology, Engineering, MathematicsにLiberal Artsを加えた教科融合型、課題発見型の教育

## PLIJ役員

2025年9月1日現在

理事	理事長	浦嶋 将年
専務理事	田中 幸二	元株式会社日立製作所副社長
理事	江村 克己	福島国際研究教育機構理事
	佐田 豊	株式会社東芝上席常務執行役員
	島田 啓一郎	元ソニー株式会社執行役員
	清水 喬雄	元JSR株式会社取締役上席執行役員
	鈴木 宏治	東京都立立川高等学校統括校長
	田中 敏宏	大阪大学統括理事・副学長
	年吉 洋	東京大学生産技術研究所長
	中島 さち子	株式会社steAm代表取締役社長
	中西 淳二	(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム企画・管理部長
監事	吉田 裕明	元住友化学株式会社監査役

## PLIJ正会員（40社）

株式会社IHI	株式会社島津製作所	株式会社大和証券グループ 本社	株式会社日立製作所
株式会社アシックス	清水建設株式会社	株式会社竹中工務店	富士通株式会社
株式会社INPEX	住友化学株式会社	東京エレクトロン株式会社	株式会社堀場製作所
鹿島建設株式会社	住友生命保険相互会社	東京電力ホールディングス 株式会社	丸善雄松堂株式会社
株式会社関電工	住友電気工業株式会社	株式会社東芝	株式会社三井住友 フィナンシャルグループ
KDDI株式会社	全日本空輸株式会社	株式会社図書館流通センター	三菱ケミカル株式会社
三機工業株式会社	ソニーグループ株式会社	株式会社ニコン	三菱地所株式会社
JX金属株式会社	第一三共株式会社	日鉄エンジニアリング 株式会社	三菱商事株式会社
JFEスチール株式会社	大日本印刷株式会社	日本製鉄株式会社	三菱電機株式会社
株式会社JTB	太陽誘電株式会社	日本電気株式会社	吉本興業ホールディングス 株式会社

## PLIJ特別会員（451）

中学・高校 262、高専・専門学校・大学 89、行政庁・国立研究開発法人・独立行政法人 16、自治体・教育委員会 44、博物館・科学館 33、支援団体 7



一般社団法人  
学びのイノベーション・プラットフォーム  
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

〒153-8505  
東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内  
[電話]03-5452-6621 [FAX]03-5452-6623